

ヒアリングを踏まえた委員のコメント例（令和元年度SDGs未来都市選定自治体）

No.	提案者名	コメント案
1	岩手県 陸前高田市	<ul style="list-style-type: none"> ・「すべての人にやさしいまち」が計画の隅々まで意識されており、ノーマライゼーションの具体的な検討の包摂性は評価できる。 ・モデル事業として、具体的な事業の検討が望まれる。特に人材育成の観点からの事業の充実や企業誘致に向けた具体的な事業戦略の構築を期待する。
2	福島県 郡山市	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスの良いターゲット設定により各項目が関連し循環できる計画となっており、ステークホルダーとの連携についても充実している。 ・モデル事業として健康に絞った企画は分かりやすいが、健康には、住まいや食物等も強く関係するため、医療、健康、福祉と他の分野との連携など、より広がり追求し、SDGsの取組らしさを強調することが望ましい。
3	栃木県 宇都宮市	<ul style="list-style-type: none"> ・人の動きを中心とした3つの要素をうまく循環させる体系的な計画であり、「SDGs人づくりプラットフォーム」の考え方は高く評価されるが、計画における地域コミュニティの位置づけを明確にするなど事業の実効性を高めることが必要である。 ・モデル事業としては、自律的好循環における経済的な合理性や、ビジネスモデルとしての側面をより具体的に検討されることが望ましい。
4	群馬県 みなかみ町	<ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコエコパークを最大限に活用しようとする提案は一貫性があり、ユネスコエコスクールへの取り組みも面白く、目標も意欲的である。 ・ユネスコエコパークと循環型森林マネジメントの達成を期待する。一方、中核となる林業について、上流側に対するより具体的内容が必要であり、林業の経済競争力を確保できるかが課題であると考ええる。
5	埼玉県 さいたま市	<ul style="list-style-type: none"> ・経済・社会・環境の個々の取組については、よく検討された内容であったが、中心となる事業を明確化してくことを望まれる。 ・統合的取組である「E-KIZUNA グローバルパートナーシップ」については、三側面の相乗効果や自律的好循環を意識した具体的な検討が望まれる。
6	東京都 日野市	<ul style="list-style-type: none"> ・理念が明快であり、市民運動のエネルギーをSDGsの課題解決のエンジンにできている取組として期待できるが、より具体的な計画を期待する。 ・各方面で人材育成を意識している点で優れた計画であるが、東京の郊外型資源循環都市づくりがより鮮明となることを期待する。 ・生活・環境課題産業化を具体的に進めるための共創リビングラボによる先導事業が鍵となると考える。
7	神奈川県 川崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・提案全体として、良くまとまっており、市役所内の推進体制の調整等に係る意識が高く、注目される点がある。 ・SDGs推進の方針と事業の核についてより明確化することに期待する。また、モデル事業の連携の仕組みなどの工夫が必要である。 ・臨海部コンビナート強化においては、SDGsを一層踏まえた対応の検討を期待する。

8	神奈川県 小田原市	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成から、プラットフォームの参加、実践の場まで、ホップ・ステップ・ジャンプが揃ったバランスのとれた提案であり、分散的でありながら自発的な動きを結びつけようとする興味深いモデルと考える。 ・「地域自給圏」を実現するため、具体的に小田原「市民大学」の人材育成を位置づけ、「現場」を作り出す工夫を含めた事業提案であり、モデル的で優れているが、経済の側面にも力点を置くことが望ましい。 ・SDGs 推進による横断的な相乗効果の実現や、システム開発に係るより具体的な検討を含め、SDGs の理念に基づく企画としての計画策定に期待する。
9	新潟県 見附市	<ul style="list-style-type: none"> ・自律的好循環の仕組みが明確であり、これまでの市の地道な取組の蓄積を踏まえた提案と考える。また、「ウォーカブルシティ」の一貫性とその深掘りは高く評価できる。 ・健康、コンパクトシティ、小さな拠点により、市民自らが自立して暮らすまちづくりに期待するとともに、スマートウエルネスシティとしての実践を、SDGs によるまちづくりに展開することで、よりモデル性がある事業の実現が可能と考える。
10	富山県	<ul style="list-style-type: none"> ・水の循環と漁業、プラスチックゴミ対策等、地域の課題と資源を理解した提案である。 ・特に、水資源の保全を中核とした計画は具体的であり、三側面の統合が高いレベルで実現されている。今後は、事業を深掘りするとともに、「環境エネルギー先端県」として産業的なターゲットについてもより具体的に検討いただくことを期待する。 ・水の「守る」「活かす」「いたわる」を、統合的に俯瞰して共有する仕組みづくりを期待する。
11	富山県 南砺市	<ul style="list-style-type: none"> ・統合的取組による自立的好循環の仕組みが具体的に検討されており、高く評価できる。 ・特に環境・産業・健康医療・教育の4機能の好循環を作り出しエコビレッジを目指す取組には、小規模自治体の弱みを強みに変えようとする意欲を感じた。 ・今後の事業実施に当たっては、小規模多機能自治、基金ファンディング、活動拠点づくり、人づくりを効果的にまわす、パイロット事業を検討いただく必要がある。 ・エコビレッジで価値の循環が生まれるような取組を期待したい。
12	石川県 小松市	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成を中心としたモデル事業の計画は具体的であり、実効性に優れているとともに、地域の特色を入れた提案として評価できる。 ・統合的取組についても、教育をテーマとして具体的に検討されており、今後の事業実施にあたっては各側面の事業との関係性を明確にすることが望ましい。また、取組の内容を普及展開していくことも期待する。
13	福井県 鯖江市	<ul style="list-style-type: none"> ・社会面で女性が輝くまちを掲げた計画が特徴的であり、女性をターゲットとしたモデル事業は魅力的かつ説得力がある。 ・女性のエンパワーメントを中核としたプログラムの実績は高く評価される。この実績を生かして、女性の処遇改善に向けた新しい展開を期待する。 ・女性を鍵とする統合的な取組では、環境面等におけるより幅広い検討を期待する。 ・プラットフォーム創出事例によって、これまでの取組に加えて何が具体的に創出できるかを明確に示されたい。
14	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系にテーマを充てた提案は評価できるが、推進体制や取組の具体化が必要と考える。 ・SDGs に参画することで、愛知目標に対しどう貢献し、成果をどう活かすかなどの結びつきを盛り込むことで世界に発信できるのではと考える。 ・豊富な資源である企業ネットワークを活かした、自然資本から経済を動かすといった、広域自治体の強みを活かしたより具体的な推進体制、事業実施について期待する。

15	愛知県 名古屋市	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い政策を統合的に推進する取組となっていることは評価できる。 ・今後の事業実施にあたっては、事業内容の深化とともに、部局間を横断する推進体制の具体化を期待する。 ・教育機会の形成に加えて、イノベーション拠点や経済界の巻き込みなどの、より具体的な明示が必要と考える。
16	愛知県 豊橋市	<ul style="list-style-type: none"> ・水に特化した提案であり、水ビジネスのアジア展開を軸とする取組や、三側面をつなぐ統合的取組について評価できる。今後はさらに市民の暮らしと経済活動との連携についての検討を期待する。 ・水道技術がインドネシアに移転することでの経済活性化や産業化から包括的展開につながることを期待する。
17	滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の分析は的確であり、それを踏まえた提案であった。一方で、経済面の取組についての新しい展開や、ビジネスモデルの具体化を期待する。 ・大学機関を含む担い手育成等、資源となる要素や成果のある事業があるため、丁寧な将来ビジョンの作成と三側面を繋ぐ取組をブラッシュアップすることで、より魅力的で具体性のある事業になることを期待する。
18	京都府 舞鶴市	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画が充実しており、“あらゆる資源がつながる”というコンセプトと、その実現性に期待できる。また、それを支える推進体制なども工夫がみられ、具体性もあると考える。 ・事業実施にあたっては、民間企業との連携がどの程度進められるかが鍵になると考える。 ・情報技術を中心とした Society5.0 を目指す新しい自治体運営であると評価できる。今後、ネットワークで価値を地域還元する具体的な仕組みの検討を期待する。 ・具体的な地域サービスについて、地域発電以外のサービスの検討へも期待したい。
19	奈良県 生駒市	<ul style="list-style-type: none"> ・生活構造、社会構造、都市構造の変化を把握し、それをテコに電力会社やエコステーションを活用しながら戦略を描こうとする魅力的な提案であった。 ・地域エネルギー事業について、市民力をネットワーク化することによるコミュニティの育成など他の社会政策に展開することを視野に入れることが必要であると考えます。 ・住宅都市の特性を踏まえた包括的な取り組みや、地域エネルギーの他分野への展開の議論を含め、SDGs の観点から三側面の統合を踏まえた、より詳細な事業設計の検討に期待する。
20	奈良県 三郷町	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性、歴史を踏まえた個性ある検討が行われており、地域無線LANを活かした地域BWA（地域広帯域移動無線アクセス）の仕掛けは面白く、民間企業との連携も具体的に動き出していることが評価できる。 ・今後は地域サービスや事業ガバナンスの官民連携の仕組みのより具体的な検討、自律的好循環を可能にする収益構造の明確化、メンターへの着目を中心としたシステムの一層の体系化を望む。
21	奈良県 広陵町	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済循環を軸にした提案は高く評価され、分析もできていると考えるため、さらに取組による利益が生まれ、それが再投資される具体的な収益構造が検討されることを期待する。 ・広陵町産業総合振興機構（仮称）の計画は実行性のある組織とするために、資金、人材を含めた具体的な内容の検討が期待される。 ・今後、循環型市場の具体的な推進システムの実現や達成目標などについて、より深掘りした検討が期待される。

22	和歌山県 和歌山市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の居住人口増を目指した戦略的なリノベーションを核とした検討及び大学や企業との連携が評価できる。 ・ 今後はモデル事業に統一感をもたせ、それぞれの事業を束ねるための統合的取組にも反映させていくことが必要であり、リノベーション以外の他分野との相乗効果を深掘りした具体的な検討を期待する。
23	鳥取県 智頭町	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの取組をSDGsにより、もう一段進めようとする計画であり、評価できる。今後、本提案の仕組みを実際の事業として実施していくことにより先駆的なモデルの形成に繋がるものと期待する。 ・ 住民自治と経済開発とのつながりを持たせ、地域事業者や金融機関と連携した事業展開を期待する。 ・ 若者を巻き込みながらより具体的な事業を展開していくことが望まれる。
24	鳥取県 日南町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業経営の構築をテーマとして、一貫性のある提案であるが、林業経営の仕組みの新規性について深掘りすることが望まれる。 ・ 森林アカデミーの設立、人材育成から出口戦略までの仕組みが整えば、強みを発揮できると考える。 ・ コンパクトヴィレッジ構想、コワーキングスペースの運営、教育のコンテンツづくり、住民交流を促進するための分野横断的ガバナンス体制について、より具体的に検討を進めることを期待する。
25	岡山県 西粟倉村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林信託、「100年の森構想」、ローカルベンチャー等具体的な事業を展開し、小さな産業の連携による新たな地域経済循環の創出を図っている良い事例であり、モデル事業の組み立てとしてはほぼ完成形と評価する。 ・ 中山間地域の大きな課題である森林産業の上流側の経営改善に官民連携によるSDGsの推進としてチャレンジする極めて意欲的で素晴らしい事業である。 ・ 既に推進されている移住や、福祉等の社会課題解決のための具体的な市民連携の取組もモデル事業により推進することで、より社会面への相乗効果の拡大へ繋がると考える。
26	福岡県 大牟田市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業立地とバランスのとれた生活健康対策の検討や、「未来共創センター」等、統合的取組の具体策が準備されている点で、優れた提案であると評価できる。 ・ ハード整備のみではなく、リビングラボ推進やタイムツーリズムといった提案内容の具体的手法に関する見える化を期待する。また、未来共創センター、リビングラボ、民間事業者、自治体等のガバナンス体制の具体的な説明が必要であると考えます。 ・ テーマとして認知症といった分野への波及事例としては評価できるため、産業を生み出し、社会、経済、環境の価値向上に展開することを期待したい。
27	福岡県 福津市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的連携経済の実装として、まちづくりラボや、地域通貨の取組の展開について注目できる良くまとまった企画である。 ・ 今後、社会連携事業が具体的に発現するため、経済・社会・環境の三側面を繋ぐ仕組みと推進エンジンの具体化、市民・企業の取組及び官民連携のガバナンス体制の具体例や、KPIの設定によるゴールの見える化を検討いただき、より実現可能性を高めていくことを期待する。

28	熊本県 熊本市	<ul style="list-style-type: none"> ・地震の経験と教訓を SDGs に取り込むテーマ設定には普遍性があり、経済・社会・環境の三側面における取組のバランスがよく、好循環が作りだされており評価できる。 ・一方で、モデル事業がややレジリエンスに集中することの論理性について、説明が望まれる。 ・E V 普及により災害時の電源確保や環境配慮の実現が期待でき、自営線敷設に関しては大胆な取組であり評価される。
29	鹿児島県 大崎町	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的連携を意識していることに加え、推進年次・体制・具体事業が明確であり、秀逸な計画であると評価できる。また、様々なソーシャルビジネスを生み出し、実践型提案で成果も早くに生まれると考える。 ・既に「大崎モデル」とも言える実態があり、その経営モデルを更に拡張して地域経済モデルにつなげる等、今後の発展についても期待される。 ・今後、リサイクルだけでない産業創成やくらしサービスの構築について検討いただきたい。
30	鹿児島県 徳之島町	<ul style="list-style-type: none"> ・経済・社会・環境の三側面統合のためのエコブレッジコミュニティの構想が特に注目され、コワーキングスペースとの連携も期待される。 ・離島の地理的条件を克服する戦略であり自然の豊かさを活かす提案は、地域資源のより一層の活用が期待でき評価されるが、全体的な連鎖の創出や各プログラムにおける更なる具体性や実効性の提示が望まれる。
31	沖縄県 恩納村	<ul style="list-style-type: none"> ・全体における計画の一貫性、経済・社会・環境の三側面についての合理性が評価され、大変明快で優れた計画である。 ・O I S T（沖縄科学技術大学院大学）との連携による技術と産業の有益な融合や、特別税について村民の了承を得られるかが課題であると考え。また、プロジェクトのマネジメントを行うにあたり、その実行性を示されたい。加えて、行政主導型ではなく住民や民間機関等によって事業推進主体が形成され、推進していくことが明示されることを期待する。 ・産業、教育、人材、観光の包括的な取組と Green Fins との連携を検討されるとより良い提案となると期待される。